

大塚が準V 男子個人リカーブ 団体は拓新4位

全日本実業団
アーチェリー

アーチェリーの第68回全日本実業団大会が24日までに、三重・松阪市総合運動公園で行われ、男子個人リカ



男子個人リカーブで準優勝した大塚＝松阪市総合運動公園

ーブで大塚謙史(拓新)が準優勝した。団体は拓新(高崎)・新木育雄、大塚謙史、堀口祐太が4位に入った。個人決勝ラウンドはト



男子団体リカーブで4位入賞した拓新の(左から)大塚、堀口、新木

ナメント方式で行われ、大塚は準々決勝、準決勝ともにナショナルチームの強豪に食らい付き、ポイント515に並び、1射勝負のシユートオフに持ち込んだ。精神を研ぎ澄ませて矢を放ち勝利。決勝は東京五輪代表候補の河田悠希(エディオン)に敗れたものの、存在感を示した。

選手兼任の新木監督は大塚を「ここ数年、メンタル面の急成長がうかがえる」と評価。現在29歳の大塚は2010年、高崎商大附高3年時に日本代表を経験した。「もう一度、日の丸を背負いたい」と、来季のナショナルチーム入りを目標に掲げ、さらなる飛躍を誓った。